

7月21日「米国産牛肉輸出認定施設の現地査察結果についての説明会」（東京会場）アンケート集計表

出席人数: 148 有効回答: 76 回答率: 51%

問1 あなたはどのような立場で参加しましたか。

	1 消費者団体	2 食品関連事業者(団体を含む)	3 生産者(団体を含む)	4 主婦	5 学生	6 無職	7 地方自治体職員	8 国家公務員	9 その他	* 未記入
	16	38	4	2	1	0	3	0	11	1

問2 本日の説明会の開催を、どのような方法で知りましたか。

	1 厚生労働省・農林水産省のHP(報道発表資料)、配布物	2 厚生労働省・農林水産省のHP(報道発表資料)、配布物	3 農政事務所のHP、配布物	4 その他の行政機関のHP、配布物	5 メールマガジン	6 新聞、雑誌等	7 所属団体からの連絡	8 その他	* 未記入
	50	3	1	2	5	2	8	4	3

問3 これまでにBSE問題並びに米国産等輸入牛肉に関する意見交換会等に参加されたことはありますか。

	1 厚生労働省・農林水産省が開催した意見交換会	2 食品安全委員会が開催した意見交換会	3 地方自治体が開催した意見交換会	4 企業、業界団体などが開催した意見交換会	5 消費者団体が開催した意見交換会	6 その他	* 未記入
あると答えた方	37	23	4	6	7	0	9
平均	2.3	2.2	1.3	2.3	1.4	0	

問4 説明についておたずねします。

問4-1 説明内容について理解できましたか。

	1 理解できた	2 おおむね理解できた	3 どちらでもない	4 あまり理解できなかった	5 理解できなかった	* 未記入
	23	40	7	1	2	3

問4-2 提示したスライド資料の内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
	12	36	7	11	4	6

問4-3 説明者の説明内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
	21	28	13	5	3	6

問4-4 質問に対する行政からの説明はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
	14	29	12	7	1	13

問4-5 質疑の時間は十分でしたか。

	1 長かった	2 やや長かった	3 ちょうど良かった	4 やや短かった	5 短かった	* 未記入
	3	6	40	14	3	10

問4-6 説明者の声はよく聞こえましたか。

	1 聞こえた	2 おおむね聞こえた	3 あまり聞こえなかった	4 聞こえなかった	* 未記入	
		43	21	2	1	9

問5 説明会を開催したことを評価しますか。

	1 評価する	2 おおむね評価する	3 どちらでもない	4 あまり評価しない	5 評価しない	* 未記入	
		30	35	2	1	0	8

問6 日頃からご関心の高いものについて、3つまでご回答ください。

	1 動物用医薬品	2 残留農薬	3 食品添加物	4 環境からの有害化学物質(カドミウム、メチル水銀、ダイオキシン類等)	5 天然毒素(ふく毒、かび毒、貝毒等)	6 加工中に生成する有害化学物質(アクリルアミド、トランス脂肪酸等)	7 BSE(牛海綿状脳症)	8 鳥インフルエンザ	9 有害微生物(病原性大腸菌、サルモネラ菌、ノロウイルス等)	10 遺伝子組換え農産物	11 食品への放射線照射	12 食品表示	13 トレーサビリティ	14 その他	
		13	25	19	8	1	9	36	19	8	12	4	26	21	6

問7 本日の「米国産牛肉輸出認定施設の現地査察結果についての説明会」の感想、その他運営などで、何かお気づきの点や感じたことがございましたらご記入ください。

皆様お忙しい中、お疲れ様でした。

スライドを読むだけならば、このような会は必要ない。資料請求すると届けてもらえるシステムがあればOK。消費者団体その他明らかに反対の信念をもっている団体と業者との説明会は分けて行ったらどうか？

配付資料に不備が大量にあったが、あまりに単純なミスである。説明が配付資料(スライド)に書かれていることをそのまま話しているだけで説明としてはやってもやらなくても変わらない(資料を見ればいいので)。現地の写真などを見せてもらえるかと期待していたので残念。

発症していない陰性の牛に保菌状態の牛はいないのか？それは食べて大丈夫か。資料の不備さえ徹底できず、出荷、入荷時の検査のみでは不信を持たざるを得ない。日本国のみを守るの第一希望であるが、BSE牛が徹底的に出荷されぬ根本で絶つ検査のための労働力を提供した方がよいのではないか。(或いは出荷分の管理業務を全て日本で行ってはいかかでしょうか。)今後BSEの発生を防ぐことが最も大切な事と思う。BSEが何故発症したのかの究明はされたのか？

ご苦労様です。

資料P7、13はカラー印刷で渡して欲しかった。演題が明確なので申込み時に質問事項を記入しておいてもよかった。(多くの質問ができるように)

資料の不備等、準備段階に問題があると思います。

大変分かりやすい説明だったと思います。

場所が分かりにくかった。本庁とか大手町とか三田とか以前やった所でやって欲しい。資料の真が抜けているものが多い。説明の時に困る。

出席票のFAXが夜中になりましたが可能な限り時刻までに発信して頂きたい。米国の食品衛生法は米国内で責任を持って執り行えば良いと考えます。日本においては日本の食品衛生法に則り日本人の健康を守るという観点より国として清々と対応して頂きたい。米国と日本は同一ではないことを認識してください。

輸出する国自体がきびしく消費国の信頼に応える対応が欲しい。スライドの説明に関して矢印がチラチラして見づらく思いました。はっきりしたデザインでの使用をお願いします。

配付資料の事前確認は基本中の基本。あまりにもお粗末。このような単純ミスをすることは本題の査察結果までもが大丈夫なのかと思ってしまう。(説得力が欠ける)

一部の方の意見は「食品の安全」では全く何が何でも反対。共産党のようなものでは。現実的には、メキシコ、中国、チリ産の牛肉も輸入されており、全箱検査どころか月齢制限もない。アメリカ産牛肉にだけ厳しすぎる。

早急な30ヶ月齢までの解禁

今回の説明も過去に聞いたものあまり変わらず、納得のいくものではありませんでした。今後の対応がより改善されるよう希望します。

ますます米国産牛肉への不信感と日本行政への不信がつのった。

資料14のFSISの検査官への試験はもちろん、06年1月20日の輸入停止の後のシステム強化の研修の後の実施を確認しましたか？

肉骨粉とSMRの部分をもっと分かりやすくする。混同しないような説明が必要。SMRをはずした肉骨粉は問題ないのでは。

資料印刷不良が出たのは残念。現在大きな関心と呼んでいる月齢条件緩和についても、今少し詳細な情報が欲しかった。飼料規制状況についても情報が知りたい。全体的には良く、分かりやすい説明でした。ありがとうございました。

査察の様子は配付資料中に写真版が入っていましたが、スライドでもご説明が欲しい気がしました。姫田課長からも説明のありました牧場の様子も見えなかった。資料等もたくさん用意していただき本日はありがとうございました。

資料の不備は渡す前に確認していただきたい。

最初に配布された資料に不備があり、それに基づいて説明がなされたが、こういう事態は参加者に不信感を与えることになるので、今後はご留意願いたい。

消費者団体の意見としては理解できないものが多い→反対することが目的か？一度米国と日本の生産～加工迄のシステムを見て頂いた方がよいのではないかと

